

被災者支援に取り組む 金沢大学共通教育学生自治会への連帯アピール

能登半島地震の発生から1ヶ月、いまなお14512人(1/30現在)もの被災者の方が、生活用水すら確保することが困難な状況のなかで、互いに助け合いながら避難生活を送っています。地震発生直後から、被災した学生の支援を求める要望書を大学当局に提出し、救援物資の寄付や義援金募集に取り組んできた金沢大学共通教育学生自治会のみなさんに、私たち早稲田大学文化団体連合会は熱い連帯と応援のメッセージを送ります。

私たち早大文連も、被災した早大生への学費減免・経済支援を早大当局に求めるとともに、被災された方への支援に全力で取り組みます。

地震で倒壊した家屋の下敷きになった人命救助よりも、財界などへの新年会まわりを優先させ、いま被災者支援そっちのけで「裏金」問題ののりきりに狂奔している岸田政権に、私たちは怒りを禁じ得ません。岸田政権の震災対応のデタラメさと志賀原発事故の隠蔽に抗議する金沢大学共通教育自治会の学生と連帯して、私たちも岸田政権の被災者切り捨てを許さない声を、ここ早稲田のサークルから大きくあげていきます。ともにがんばりましょう。

2024年2月1日

2023年度後期定例文連総会 出席者一同